

御前崎市

発行 御前崎市水道部下水道課

NTT・CATV 0537-85-1126

下水道

2007 3

ニュース



平成 18 年度農業集落排水事業特別会計決算と下水道特別会計決算の概要をお知らせします。

浜岡地域全域の整備が完了

下水道は快適で衛生的な生活を支え、良好な水環境と健全な水循環を創造するために欠くことのできない施設です。

御前崎市の下水道は、農業集落排水施設 6 施設と公共下水道 2 施設があり、18 年度末をもって浜岡地域全域の整備がほぼ完了しました。

83%の家庭が下水道を利用

平成 18 年度末の下水道利用世帯は農集排 2,138 戸、公共 3,807 戸、利用率は農集排 84%、公共 82%で、浜岡地域約 83%との家庭で下水道を利用されています。

1 年間の使用水量は 2,225 千 m^3 で、前年度に比べて 212 千 m^3 、11%程増加しました。

かかった経費は 12.6 億円

2 つの事業に要した経費は約 12 億 6,000 万円でした。財源は、国・県支出金 1 億 2,000 万円、起債 5,300 万円、使用料 1 億 9,300 万円、繰入金 8 億 1,600 万円となっています。汚水 1 m^3 を処理するのに約 133 円の経費がかかりますが、使用料は 1 m^3 84 円しかいただいておりませんので、その差額とこれまでの整備に要した借入金の返済は、市が全額負担（繰入金）しています。

農業集落排水事業特別会計決算

佐倉、忍沢、下朝比奈、上朝比奈、比木、新野の 6 箇所の処理場の運営を中心に行いました。

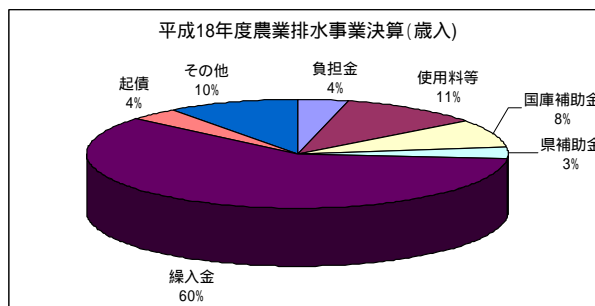
主な工事は、整備最終年度となる新野地区の管路布設やマンホールポンプ等の設置、比木地区の舗装復旧、下水道加入に伴う取付管工事等です。

全地区整備率は 99.9%となりました。

主な歳入決算額

単位：千円

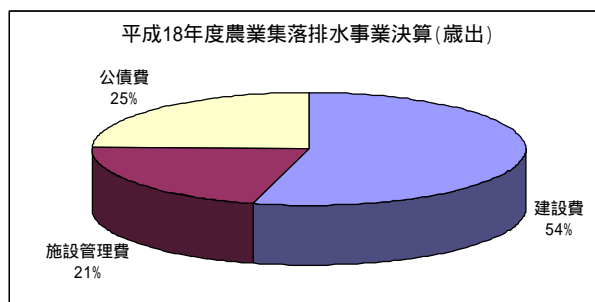
歳入総額	使用料	補助金	繰入金	市債
610,961	67,263	70,500	364,660	25,000



主な歳出決算額

単位：千円

歳出総額	施設管理費	建設費	公債費
562,132	118,750	303,925	139,457



下水道事業特別会計決算

池新田・高松両浄化センターの運営を行いました。

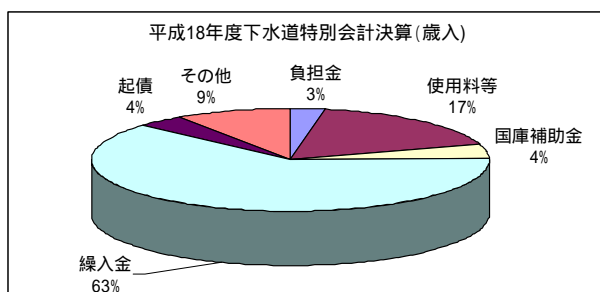
主な工事は、池新田浄化センター増設設計、池新田工業団地内等の幹線管路の布設や取付管、公共柵、個別ポンプ等の設置工事です。

18年度末の整備率は89.2%となり、住宅地での整備がほぼ完了しました。

主な歳入決算額

単位：千円

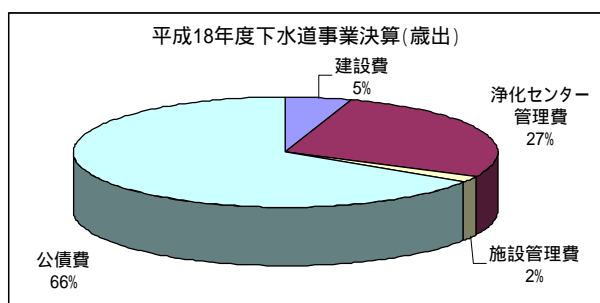
歳入総額	使用料	補助金	繰入金	市債
725,644	125,550	31,600	451,507	28,300



主な歳出決算額

単位：千円

歳出総額	建設費	浄化セ	施設管理	公債費
696,693	242,069	129,911	9,681	315,032



起債残額は68.5億円

御前崎市が下水道整備のために借りている起債残高は、農業集落排水、公共下水道合わせて約68億5千万円あります。

下水道施設は今の人だけでなく後の人も引き続いてその恩恵にあずかることができるため、起債という借入を行い、30年位の比較的長い期間の中で毎年の負担を少なくする返済方法がとられています。

19年度のおもな事業

農業集落排水事業

平成4年度に供用開始した忍沢処理場と6年度開始の下朝比奈処理場の処理施設や機器が硫化水素の発生によって腐食し、劣化してきたため、施設の延命と機能強化を図る改良工事や6施設の運転状況や故障状況を迅速に把握し、対応するため自動通報装置の設置を行っています。

下水道事業

池新田浄化センターの流入汚水量が平成21年度中に、現有施設の処理能力を超えるため、計画最後の処理施設増設工事を行っています。これにより日最大能力は5,900m³となります。

下水道の上手な使い方

下水道施設は私たちの身体の血管や心臓などの臓器と同じです。

流してはいけないものを流すと処理能力の低下や故障の原因になります。

また、正しく使えば管路施設や処理場の負担が減り、維持管理コストの縮減や水環境の保全にもつながります。

流さないでいただきたいもの

てんぷら油類

調理くず

水洗トイレ用以外の紙

髪の毛

スポンジ・タオル・玩具

砂や土砂

農薬等薬品、アルコール、シンナー、ガソリン類

雨水

この他、シャンプーや合成洗剤は微生物が死んでしまう原因になりますので、減量に心がけるとともに、自然にやさしいものをご利用ください。